のブリッジ余談（第 101 回）

2017.12.15

ダブルかパスか？

Q] 次のハンドで、W パスの後Nが１Ｃオープン、Ｅは１Ｓとオーバーコールしました。Ｓは良い４枚ハートがありますが、オポーネントスートが５枚もあります。どうするのが良いのでしょうか？

♠ K
♥ 762
♦ KQ104
♣ KQ852

♠ 98
♥ K1095
♦ J763
♣ A76

N
Ⓦ＋ E
S

♠ A7643
♥ 83
♦ A9
♣ J1094

♠ QJ1052
♥ AQJ4
♦ 852
♣ 3

A] 確かにアザーメージャー４枚でネガティブダブルを考えるかも知れません。しかしネガティブダブルを掛けるための条件に、パートナースート（オープニングスート）の持ち方も考慮に入れた方がよいのです。つまり、この場合ハートがフィットしなかった時にパートナーが２Ｃとリビッドしたらどうなるでしょうか？それは５枚だけでもそう言いますね！５－１フィットでは良いコントラクトとはいえません。またハートがフィットしたとしてもそれは普通 4-4 フィットでそのときはスペード QJ 頭の 5 枚はよい財産とは言えず、ハンドの価値はあまりありませんね。それよりはパートナースートがシングルトン、つまりミスフィットを利用してディフェンスした方が良さそうに思えます。ディフェンスに回るためには何かビッドしてしまったら不可能になります。だからまずパスして、パートナーのバランシングダブルを待ちます。

Q] この例ではパスをしました。すると後ろのWが１ＮＴとビッドし、そのまま回ってきました。ここでペナルティのつもりでダブルをしました。そすると１ＮＴと言ったWが２Ｓと逃げ出しました。これもパスパスと回ってきたのでまたダブルしました。当然ペナルティのつもりです。するとパートナーは３Ｄと逃げ出してしまいました。仕方が無いので３ＮＴとなって１ダウンしました。どこが悪かったのでしょうか？

A] オポーネントが最終コントラクトのつもりで１ＮＴと言ったのをダブルしたのは明らかにペナルティです。いったんペナルティダブルかペナルティパスがされた後にはテークアウトダブルは存在しません。 だから２Ｓダブルもペナルティになります。ダブルがテークアウトになるとすれば最初の機会にしていたでしょう。最初にパスと言っておいてからダブルをしたのですからペナルティです。（いったんパスの後のダブルはペナルティ）

Q] この場合１Ｃオープンでなくて１Ｄオープンだったらどうでしょうか？（Ｄ４枚Ｃ５枚でミニマムだったら１Ｄオープンはよくあることです）

A] 極めて難しい判断になります。ネガティブダブルしてもおかしくありませんが、パスもおかしくありません。ネガティブダブルするとパートナーは２Ｃでしょうから２Ｄと言ってそれで終わるでしょう。たぶん２メークでしょうが。パスをすれば１Ｃオープンの場合と同じようになりそうです。しかし１Ｃオープンの場合と違ってディフェンスにそれほどは確信は持てませんが。

今回も皆さんからの質問に答えました。よく起きるシチュエーションです。ネガティブダブルを掛ける条件は教科書にはあまり載っていないものがあると認識してください。

[レッスン] ネガティブダブルとバランシングダブルの関係を理解していない人をまだ多く見かけます。この２つは紙の裏表の関係にあることをよく理解してください。多くの人がよく読んでいる「２５のコンベンション」の p.76 に次のように書かれています：

『ネガティブダブル使用の場合、オープンの後 LHO がオーバーコール、パートナーも RHO もパスすると、オープナーは通常何か言わなければいけません。普通は**ダブルでリオープン**します。』

ここには、『普通はダブルでリオープンします』となっていますが、むしろオープナーの義務と認識してください。それがどんなライトオープンだったとしても、いやしくもオープンした限りにおいて義務です。これができない人はネガティブダブルを使う資格がないのです。なおオープナーとしてパスして良いのは自分が相手スートを 4 枚以上持っていた時です。2 枚以下なら必ずバランシングダブルしますが、3 枚の時は微妙です。Axx ならばダブルトンを持っているに相当すると考えてダブルしますし、KJ9 ならば 4 枚持っているに近いと考えてパスしてもよさそうです。